

# ますらを古典文法⑦

## 形容詞・形容動詞

形容詞・形容動詞は事物の性質や状態、人の感情などを表す語である。

### (1) 形容詞

○形容詞は、活用パターンを一つだけ覚えれば、それを元に他の2パターンを作り出せる。  
また、二つの活用の種類を見分けるようにすればOK!

### ○ク活用

基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	已然	命令	活用の種類
なし	な							ク活用
下に続く語		ゝず	ゝたり	言い切り	ゝこと	ゝど	命令	

### ○シク活用

基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	已然	命令	活用の種類
久し	ひさ							シク活用
下に続く語		ゝず	ゝたり	言い切り	ゝこと	ゝど	命令	

※それぞれの表の右側(く・く・し・き・けれ)(しく・しく・し・しき・しけれ)を「活用」という。

※それぞれの表の左側を「活用」活用という。これは、「本活用+あり」によって作られたものであり、「ために設けられた。」

※シク活用はク活用の頭に「し」を付けることによって生み出せる(終止形は除く)。

### 〈重要〉ク活用とシク活用の見分け方

※形容詞に「なる」を付けてみる。

↓「くなる」となれば、ク活用

↓「しくなる」となれば、シク活用

※シク活用は感情を表す形容詞であり、ク活用はそれ以外という違いもある。  
これを発見したのは、ある大学生が卒業論文を書いていた時だという。

## (2) 形容動詞

○形容動詞はラ変型活用語なので、新たに活用パターンを覚える必要がない。ただし、連用形にのみ注意！

### ○ナリ活用

基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	已然	命令	活用の種類
静かなり	しづか							ナリ活用
下に続く語	しづ	くたり	言い切り	くこと	くど	命令		

### ○タリ活用

基本形	語幹	未然	連用	終止	連体	已然	命令	活用の種類
漫々たり	まんまん							タリ活用
下に続く語	くず	くたり	言い切り	くこと	くど	命令		

※ナリ活用の連用形「に」「と」・タリ活用の連用形「と」「に」に注意！よく忘れる。

### 〈重要〉ナリ活用と「名詞＋なり」「との識別

※上に「いと」「を」を付けてみる。

↓「いとあはれなり」と意味が通じれば、形容動詞  
 ↓「いと十ばかりなり」と意味が通じなければ、「名詞＋なり」

## 用言の音便

※撥音の便宜上、用言は音が変化することがある。それを「          」と「          」という。

(1) 「          」音便 ≡ イ音に転じるもの

(2) 「          」音便 ≡ ウ音に転じるもの

(3) 「          」音便 ≡ ン音(撥音)に転じるもの

(4) 「          」音便 ≡ ッ音(促音)に転じるもの